

そのままが良いのか？ 使用料手数料！

6月議会で
質問！

■ 使用料手数料って？

私たちは行政サービスを利用する際、使用料や手数料を払っています。

★**使用料**: 行政財産や公施設の利用について、利用者から徴収する金銭 例) ホールの使用料

★**手数料**: 特定サービスの利用について、利用者から徴収する金銭 例) 戸籍謄本交付の手数料
双方とも、金額は各自治体で独自に定めることとなっています。

■ 約14年間、見直しされていない！

使用料手数料は一見「リーズナブルな方が助かる！」と思いがち。しかしよく考えると、使用料手数料が低いということは、かかる経費を税金で補填していること。**サービスを利用しない人が、利用する人の料金を負担しているのです。これは税負担の不公平です。**ゆえに適切な負担のあり方を、社会情勢も鑑みながら随時検討することが必要です。

ただ、見直しは料金アップの可能性もあることから、敬遠する(ほったらかしにしている)自治体も多い実情でした。しかし近年、財政改革の観点からも、今一度見直す自治体が増えています。

では伊丹市はどうか？ **平成10年に見直されて以来、約14年間行われていません。**明確な基準がなく、負担割合のバランスが崩れているものも生じています。伊丹市でも、**明確な基準を構築して適正化を実施し、税負担の不公平を是正することが不可避**です。

■ 見直しするのか？

伊丹市は見直すつもりがあるのか？ 先日の6月議会で質問をぶつけました。

市いわく「伊丹市行財政改革プラン(H23年作成)」の記載通り、**適正化を実施する方向性**とのこと。さらに具体的なスケジュールを問うと「**H23・24年度で現状調査し基礎データを作成。H25年度から検討を開始。**」との答弁。長期プランすぎますが、着手の言質は取れました。



■ 基準はそれでいいのか？

ここで気になるのが、「**基準の設定方法**」です。

市いわく「**原価の70%を目安にする**」とのこと。つまり「利用者は経費の70%を負担」を基準にする、とのこと。しかし、70%が適切な数値なのか？ 全部一律70%でよいのか？

先行自治体を調査すると、いくつかの段階を設定し、サービス内容によってきめ細かく適正負担を再設定しているところが大多数。例えば、100%・75%・50%・25%・0%の5段階とし、墓地使用料は利用者100%負担、高齢者施設利用は利用者25%負担など。調べる限り、基準値が1つしかない自治体は存在していません。

伊丹市も、いくつかの**基準値を設定し、サービス内容によって適正負担を検討するのがベター**かと私は考えます。

■ 私たちが納得できるように！

ともあれ伊丹市は、これから使用料手数料の見直しを実施します。料金が上がるものもあれば、下がるものもあるでしょう。大きなポイントは、**私たちが納得できるような料金設定のかたち**です。ここに最大の工夫を凝らしながら、慎重かつ堅実に進めてまいります。税負担の公平性の確保のために、果敢に取り組んでまいりますので、ご理解いただければ幸いです。

「県立こども病院」ポーアイに？ そこで大丈夫？

6月議会
ピックアップ

■ 県立こども病院、ポートアイランドに移転？！

「**県立こども病院**」は、**神戸市須磨区にある総合小児救急センター**。通常の医療機関では対応が困難な場合の受け入れ先で、高度な医療技術を提供しています。老朽化にともない建て替えが検討されていますが、このたび**県からでた移転先の候補地はポートアイランド**。…ん？ ポートアイランドは、阪神・淡路大震災の時、交通アクセスが分断されて孤立しませんでしたっけ？ それに東南海地震がくると言われる今、津波は大丈夫なの？

■ 伊丹市では請願が紛糾！

伊丹市議会には、「**ポーアイ移転に反対して！**」という請願が住民から出されました。議員が賛成多数で可決すれば、伊丹市議会の意見として県に申し入れるカタチになります。**私は請願に賛成**しました。リスク分散の必要性などから、候補地の再検討(現地建て替え含め)をとの意向からです。伊丹市議会では、**賛成12・反対14・棄権1(※議長は賛否に不参加)**で、**請願は不採択**となりました。賛否拮抗。内部で賛否が分かれた会派もありました。

■ 動向を注視。伊丹市議会としては是々非々で！

県立こども病院について、伊丹市議会に決定権はありませんが、**動向を注視し引き続き県に意見**していきます。

また伊丹市議会として、今回は賛否が拮抗しました。実は最近こういうケースが増加。各議員が内容を吟味して是々非々で判断するようになった現れか？ 今後も各課題に真剣に向かい合い、責任をもって判断していきます。

児童クラブ、緊急改善ポイントとは？！

6月議会で
質問！

■「児童クラブ」とは？

小学校の学童保育のこと。保護者の就労等で家庭で保育を受けられない児童を各小学校で放課後などに預かる取組で、市内1065名の児童が在籍しています(H24年5月1日時点)。

児童クラブは**随時改善が実施**されており、近年では**H21年度に預かり時間延長(17時→18時)が実施**されました。(当時、私も大いに声を上げました)。しかしまだ改善点が山積です。緊急の改善点を質問しました。

■緊急改善ポイント①:各クラブに携帯電話を！

現在、**1クラブ(1小学校)に電話回線が1本**ひかれています。

課題は1回線では不足であること！特に困るのが緊急時です。例えば警報が発令された場合、クラブは迎えを依頼するため保護者に電話せねばなりません。児童が約120名も在籍する学校もある中、1回線では当然足りません。

(実は6月議会でこの質問をする、まさにその日その時間、この事態が発生しました！(6月19日)「今現在、各クラブの電話回線はパンクしています！」「個人的にクラブ保護者の私も、電話が繋がらず困っています！」と窮状を非常にリアルに訴えることができました。)

というわけで、**各クラブにせめて携帯電話を1つ支給を！**と提案しました。

経費面ですが、実は本年度、公立保育所10か所に携帯電話を支給しています。機種は無料、通話料は全部で年間10万円です。(昨今携帯電話会社のサービスが充実しており、ここまで格安に！)。この例でいくと**各クラブへの携帯電話支給は、年額20万円程度で実現可能**です。市答弁では「確かに固定電話1回線では限界。**早急に検討する**」とのことでした。期待したいところです。

■緊急改善ポイント②:夏休みのオープン時間、8:30→8:15に！

もう一つの課題は、**長期休業中の開所時間の前倒し**です。現在、夏休みなどは8:30~です(この時間にならないと門が開かない)。これは普段の学校が始まる時間よりかなり遅い。するとどういふ事態が生じるか？保護者が先に家を出て出勤し、児童が後から1人で家を出る家庭が急増するのです。特に1年生は対応が難しい。たかが数十分されど数十分。保護者にとっては大きな壁です。そこで、**普段の学校が始まる時間とニアリーな8:15~にと提案**しました。

ただ、課題は経費です。指導員の報酬増加が必須となりますが、増加経費を①市で負担→市負担が年間約300万円アップ②保護者で負担→育成料が月額6200円→6300円になります(試算は相崎算定)。市答弁は「諸課題もある。手法など検討していく」とのことでした。

■まだまだ課題は山積

児童クラブの課題はまだまだ山積です。保護者の声を聞きながら(私自身の体験も踏まえ)、社会情勢や費用対効果も鑑みながら、今後もリアルな声を上げていきます。

実
現

「むっくむっくルーム」8ヶ所目！

「むっくむっくルーム」は、乳幼児とその保護者がいつでも集える親子フリースペース。自分自身の孤独な子育て経験も踏まえ、**増加を1期目からずっと要望**していました(H19年9月議会にて提案。予算決算委員会で何度も進捗を質問。H23年6月議会にて再提案)。

そして今年5月、市内8ヶ所目の「むっくむっくルーム」が、西伊丹幼稚園内にオープン！空白地だった市西部に誕生です。これで長年の悲願だった「各中学校区に1ヶ所」が、**やっと実現**しました！多くの方のご尽力があつての開所と、心から感謝しています。

「むっくむっくルーム」、子供はオモチャで遊べたり他のお友達と触れあつたりできます。保護者は、他の保護者とお喋りできたり、指導員に育児相談したりできます。対象者の皆さん、**ぜひ気軽にお立ち寄りいただき、大いに活用ください！**

お問い合わせ:子育て支援課(784-8030)



実
現

「AED」無料で貸出！

「AED(自動体外式除細動器)」は、急な心臓疾患の応急処置に活用できる機器。現在市内の公共施設にはほぼ設置済みです。

“今後の課題は、いざという時本当に使えるようにすること”との想いから、**H22年12月議会で、様々な活用法や工夫点を提案**しました。その中で「AEDの貸し出し」も提案しました。実施している自治体も多い中、伊丹では未実施。市内でスポーツイベントをする際など、無料で貸し出すと便利です。

そして今年4月、**AEDが貸し出しOK**になりました！貸出料金は無料です。※使用した場合はパッドを新規品に交換

AEDの貸し出しが、市民の安全安心の向上に寄与すれば嬉しいです。

ぜひ活用ください！

申し込み:
地域医療推進課
(784-8110)
※写真:日医HPより

